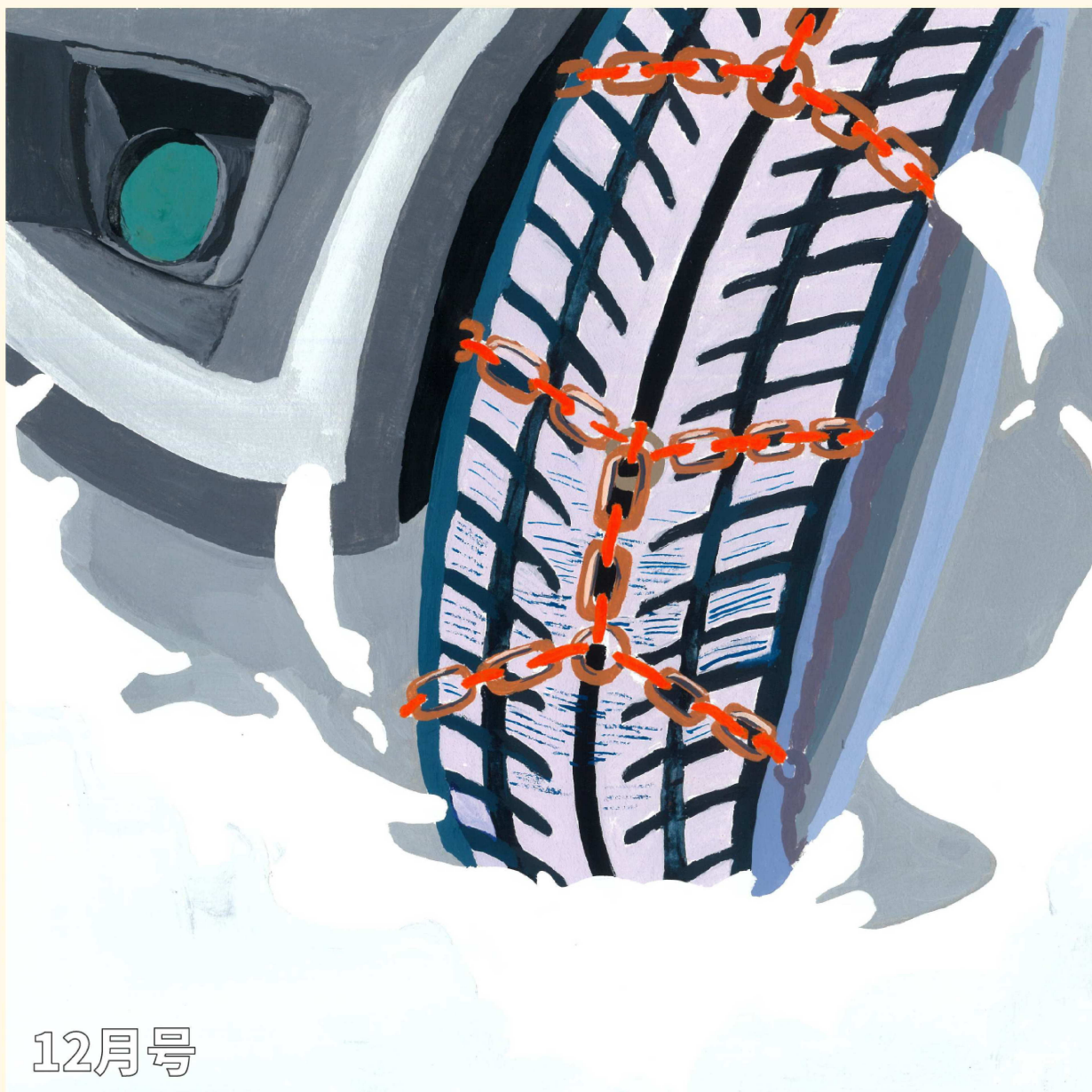


こくりにゆうだより



12月号

大阪府立池田高等学校 2年 上田 恵

「滑らぬ先の鎖。そろそろ雪が降る季節です。滑ってしまわないよう、焦らず、ゆっくり着実に歩んでいきたいです。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



まるわかりセミナー

～調査から見える外国人へのコロナの影響～

12月11日(日) 13:30～15:00

コロナによる豊中市内の外国人の生活への影響などについて2021年度に行った調査の報告から学ぶ。

対象：多文化共生に関心のある方

定員：50人(申込先着順)

参加費：無料

申込：メールで受付(宛先:atoms@a.zaq.jp)

※Zoomによるオンライン開催

国流シネマカフェ

きつとうまくいく (原題：3 Idiots)

※上映は英語版 (日本語字幕付き)

2023年1月15日(日) 13:30～16:30

インド屈指のエリート理系大学ICEを舞台に、3人の主人公の真の友情や幸せな生き方を描きつつ、競争社会への風刺を描いたインド映画。

定員：100人(申込不要、当日先着順)

会場：すてっぷホール(エトレ豊中5階)

参加費：無料

※当日12時よりとよなか国際交流センターにて整理券配布。

10/22(土)、29(土) 日本語ボランティア養成講座 を開催しました！～前編～

10月22日(土)と29日(土)に当センター主催の日本語ボランティア養成講座を1年半ぶりにZoomにて開催しました。両日とも午前と午後の部に分けて行いました。講座の様子を12月号と1月号と2回に分けてレポートをします。

10月22日には午前と午後の部で合わせて延べ76人の参加がありました。午前の部では職員の山根から『外国人を取り巻く状況ととよなか国際交流協会の取り組み』を題に話しました。地図やグラフを見せながら、日本と豊中における外国人の状況と当協会の日本語交流活動を含めた多岐に渡る事業を紹介しました。協会事業の3つの視点(①居場所、②エンパワメント、③ボトムアップの組織づくり)は皆さんにとって印象に残ったようです。

小グループで話をする時間では、言葉の通じない・文字も読めない海外で子どもの解熱の薬を買わなければならない時、同じ形の瓶の中からどれが薬か当てるクイズで盛り上がりました。参加者は日本語が分からない外国人の困難を疑似体験できて、その後のブレイクアウトセッションで、ワークでの感想を共有しました。

参加者からは「豊中市にたくさんの外国にルーツのある方がおられるのがわかりました」「豊中に住む外国人の皆さんに寄り添って活動をされていることがよくわかりました」「日本語交流活動は言語教育だけを行っているのではなく生活全般についての相談の場でもあるということは印象に残った」という声をいただきました。当センターへの理解を深めていただいたようです。

午後の部では琉球大学の名嶋義直さんから『地域日本語教室における協働～ともに対話を積み上げ、ともに市民性を育てる～』をテーマに話をいただきました。名嶋さんは日本語教育者であるだけでなく、3.11を契機に「社会」のことを主体的に考え始め、「市民」ということを意識するようになったとのこと。現在、批判的談話研究と民主的シティズンシップ教育に力を入れており、著書も出しておられます。

2時間の講座の枠内で、地域日本語教室の役割について考えることを皮切りに、「対話」「異論」「複数性」「批判的思考」「民主的シティズンシップ教育」など、普段聞きなれない言葉が次から次へと出てきました。穏やかな口調で語られ、知らないうちにどんどん名嶋ワールドに引き込まれていき、気が付いたら、グループワークで新規と現役ボランティアが熱く意見を交換し、短い間でしたが、「対話」をし、異論を出し合い、「複数性」を豊かにつなげていく過程を実践する時間となりました。

今後の日本語交流活動を行うにあたって、新しい視点を得る貴重な話を聞くことができました。(協会職員・林陽)



午後の部、名嶋さんによる講義のようす

12/1(木)より、全館オープンになります！

とよなか国際交流センターは2021年11月から空調設備の改修工事をしていましたが、無事に工事が終わり12月1日(木)より全館利用が可能になりました。それに伴い、この間停止しておりました貸室利用、図書・民族衣装の貸し出し、ギャラリー展示についても再開いたします。

主な工事箇所が天井裏のため、館内内装も大幅リニューアル！というわけではありませんが、照明のLEDへの取替や一部カーペットの張替えによって、廊下やトイレが少し明るくなりました。

コロナ禍の影響に加え、約1年間、エスカレーターが使えない、50人以上入れる部屋がない、トイレは5階以下に行かないといけない…など、利用者の皆様にはご不便をおかけしましたが、そんな中でも外国人とのつながりが途切れないように、何ができるかみなさんと一緒に考え実践することができました。

とよなか国際交流センターが気軽に立ち寄れる、安心できる場所になるよう、さらに工夫を重ねていきます。(協会職員・三木幸美)



少しだけ北の国から@福島（第28回）

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2018年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

お恥ずかしながら、自分の筆がこの現実を丁寧に記述しているか、随分と自信がなくなってきました。世界を見つめ直すとする視点が衰えているのを感じます。冒頭でこんなことを書き連ねるのは、恥ずかしさを通り越して、恥じ入るばかりですが、私の浮き足だった世界の見方に、どうかお付き合いいただければありがたいです。

つい先日、親しい友人と出かけた途中、「帰還困難区域」である浪江町津島地区を通りました。その時、口をついてでてきたのは、

「放射線量が高いけれど、君は気にするのかい。それとも、気にしないのかい。」

といった言葉でした。そう、ただ通過するだけなのですが、高度に汚染された地域を通るので、一言尋ねなければならないと思ったのです。その友人は、「気にしない。」とのことでしたが、もしためらうのであれば、私は遠回りをしてでも、別の道を通るつもりでした。

みなさんをご存知だと思いますが、日本にも、人の住めない場所があります。そこが、福島県双葉郡浪江町にある、「旧：津島村」（現在の津島地区）です。旧村名をご存知なくとも、テレビ番組『鉄腕DASH』で、アイドルグループのTOKIOが農業体験をした、『DASH村』と言われれば、ピンとくる方もいるでしょう（かつて、ファンが殺到することを防ぐために、場所は知られてはいましたが、地元の住民にとっては「公然の秘密」でした。）。

約1400人が暮らしていたおおらかな山村に、2011年3月に放射性物質が降り注ぎました。住民は避難を余儀なくされ、事故から11年以上が経った現在も、帰還ができません。所々の道路は、バリケードによって封鎖されていて、例え元住民であっても、役所の許可なしに入ることはできません。（「避難」「帰還」「封鎖」なんて、戦争中に飛び交う言葉のようです。）

朽ち果てそうな家屋。

草木に覆われた民家。

背丈を超える雑草。

まるで、「森」の中に迷い込んだかのようです。かつて「森」という言葉が指していたのは、人の手が入っていない、自然そのものでした。「森」は、人の手が入った「林」と区別されていたのです。しかし、近代化、帝国主義、高度経済成長や新自由主義といった、傲慢かつ不遜、畏敬の念を忘れた欲深き世代が触手を伸ばし、自然の隅々にまで手が加えられたことによって、純粹な意味での「森」は、この国から消えてしまったのかもしれない。

あまりに皮肉なことに、「原発事故」という科学技術の暴走は、人の手が加わっていない「森」を、再び地上に生み出したのかもしれない。いや、厳密に言えば「放射性物質」という人工的な汚染物が降り注いでいるので、「森」と呼ぶわけにはいかないのかもしれませんが。

【告知】 多文化フェスティバルを開催します！

「多文化フェスティバル」は2006年度から、豊中市教育委員会と学校現場との連携のもと、在日・帰国・渡日の多文化な子どもたちが主役となって活動できる場を地域から創造する試みの一つとして始まりました。

今年度も外国につながるのある子どもたちが集まり普段なかなか出会うことのない仲間たちと交流する場として開催します。

ボランティアや学校の先生たちが、様々な遊びやゲームを体験できるブースや仕掛けを準備しています。

ご参加お待ちしております。お楽しみに！



※今年度もコロナ感染防止対策の観点から、対象者を外国にルーツのある小中学生に限定して実施します。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【開催概要】

日時：2022年12月17日（土）

10:30～12:30

参加費：無料

対象：外国にルーツのある

小学生・中学生

場所：すてつぷホール（エトレ豊中5階）

申込：12月10日までに要申込

申込先：06-6843-4343

メール：atoms@a.zaq.jp

2022 12月 の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
28	29	30	01 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	02 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	03 相談 若者	04 がちゃ 南部
05 もっも 相談	06 おやこ 相談 こんぱす	07 休館日	08 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	09 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	10 相談 フィリピンコミュニティ クリスマス会 13:00~15:00	11 がちゃ 母語 サンプル まるわかりセミナー 13:30~15:00
12 もっも 相談	13 おやこ 相談 こんぱす	14 休館日	15 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	16 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	17 ついで 相談 多文化フェスティバル 10:30~12:30	18 がちゃ サンプル
19 もっも 相談	20 おやこ 相談 こんぱす	21 休館日	22 千里 にこにこ 相談 オンライン	23 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	24 相談	25 がちゃ サンプル 南部
26 相談	27 相談	28 休館日	29 休館日	30 休館日	31 休館日	01 ※新年は1月5日(木) より開館します

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっももっもつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 14:00~16:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

まるわかりセミナー

～調査から見える外国人へのコロナの影響～

毎年開催しているまるわかりセミナー、今年度は「コロナ禍における外国人」をテーマにお話します。

コロナによる豊中市内の外国人の生活への影響、多文化共生に向けて必要なことなどを2021年度に行った調査の報告から学ぶセミナーです。

是非ご参加ください！ ※Zoomによるオンライン開催です。

日時：12月11日(日)13:30~15:00
対象：多文化共生に関心のある方
参加費：無料
申込：下記アドレス宛にメールにて申込
E-mail: atoms@a.zaq.jp

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第164号(2022年12月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

